

# 平均足と一目均衡表によるトレンド分析

2023年3月15日

## ●昨日のレンジ（参考レート）

参考レート	始値	高値	安値	NY終値	レンジは24時間レンジ 始値比 (pips)	レンジ (pips)	週末終値
ドル円	133.17	134.90	133.03	134.21	104	187	135.06
ユーロ円	142.90	144.41	142.53	144.03	113	188	143.67
ユーロドル	1.0731	1.0750	1.0679	1.0733	2	71	1.0639

## ●本日のコメント

前日はシリコンバレー銀行の破綻の影響からリスクオフの動きが強まりましたが、当局の対応によりいったんは落ち着きつつあることからリスクオフの巻き返しの動きになりました。株式市場は上昇し、ドル円も一時134.90レベルまで買い戻されました。米国CPIは予想通りとなったこと、目先の材料が米国の金融機関問題へと変化してきたこともあって材料視されませんでした。引けにかけては134円台前半に押しつけて引けました。

ユーロドルは東京市場ではユーロ安・ドル高とドル円同様に巻き返しの動きとなっていました。米国債とともにブンズ（ドイツ国債）の利回りも上昇したことからユーロ買いへと転じました。リスクオフの巻き返しでユーロ円の買い戻しが強まったことも効いたようです。引けにかけてはユーロドルが1.07台、ユーロ円は144円台に戻して引けています。

週末を挟んでシリコンバレー銀行破綻に対する見方がかなり変化してはいますが、同様の問題は米国の他の中堅銀行も抱えていますし、欧州のように金利上昇が急な国でも間違いなく水面下で問題が大きくなっているように思います。

国債の場合、満期まで所有していれば額面で償還されるため、それまで保有できるような対応を金融当局が取れば金融危機とまではいかないでしょうが、これまでの引き締めと矛盾することや、一部業界だけを支援することができるかとなるとそれはまた別の問題ですから、今回の問題はこれで終わったというよりも、まだまだ不安を抱えた状態と見ていた方がよいでしょう。

本日はまだリスクオフの動きに警戒して以下のレンジを見ておきます。

ドル円	133.00~134.40
ユーロ	1.0700~1.0775
ユーロ円	143.50~144.50

## ●今週のフィボナッチゾーン

通貨ペア：週のサポートゾーン～レジスタンスゾーン

USD/JPY 133.27/133.72~137.51/137.96

EUR/JPY 142.77/143.02~145.11/145.36

EUR/USD 1.0510/1.0531~1.0708/1.0728

アセendantが提供する本レポートは一般に公開されている情報に基づいて記述されておりますが、その内容の正確さや完全さを保証するものではありません。また、使用されている為替レートは実際の取引レートを提示しているものでもありません。記述されている意見ならびに予想は分析時点のデータを使ったものであり、予告なしに変更する場合があります。本レポートはあくまでも参考情報であり、アセendantおよび二次的に配信を行う会社は、為替やいかなる金融商品の売買を勧めたものではありません。取引を行う際はリスクを熟知した上、完全なる自己責任において行ってください。アセendantおよび二次的に配信を行う会社は、本レポートの利用あるいは取引により生ずるいかなる損害の責任を負うものではありません。なお、許可無く当レポートの全部もしくは一部の転送、複製、転用、検索可能システムへの保存はご遠慮ください。連絡先：アセendant (info@ascendant.jp) 山中